

「未来協働プラットフォームふくい」 について

福井県総務部大学私学課

1 福井県内の大学について

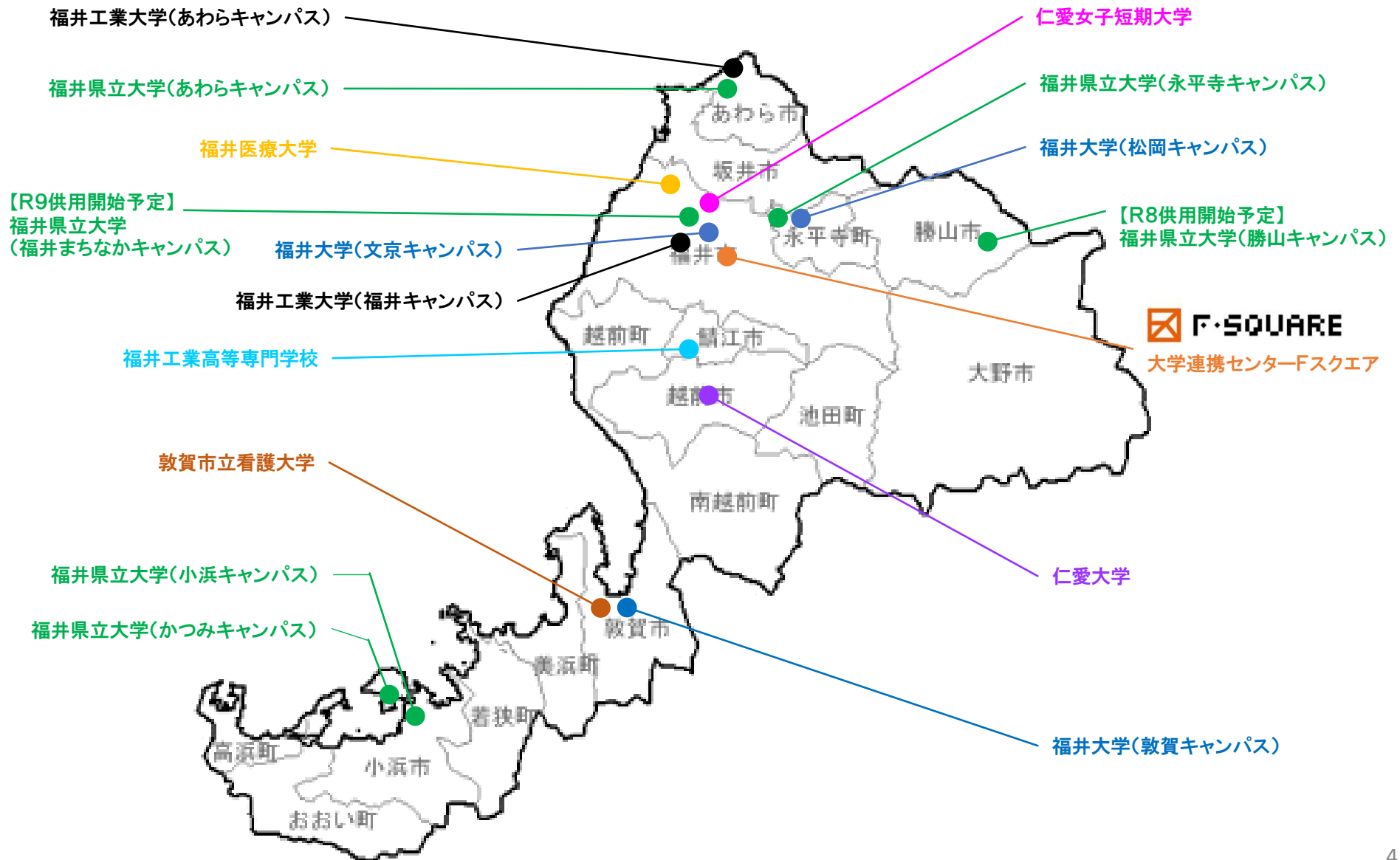
福井県内の高等教育機関について

○ **6 大学・1 短大、1 高専の 8 高等教育機関**がある。

出典：R7大学私学課調べ

大学名	学部名	学科名	備考
福井大学	教育学部	初等教育コース、中等教育コース	
	工学部	機械・システム工学科、電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科、物質・生命化学科、 応用物理学科	
	医学部	医学科、看護学科	
	国際地域学部	国際地域学科	
福井県立大学	経済学部	経済学科、経営学科	(R 8 年度 新設) 地域政策学部 地域イノベーション学科
	生物資源学部	生物資源学科、創造農学科	
	海洋生物資源学部	海洋生物資源学科、先端増養殖科学科	
	看護福祉学部	看護学科、社会福祉学科	
	恐竜学部	恐竜・地質学科	
福井工業大学	工学部	電気電子情報工学科、機械工学科、建築土木工学科、 原子力技術応用工学科	
	環境学部	環境食品応用化学科、デザイン学科	
	スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	
	経営情報学部	経営情報学科	
仁愛大学	人間学部	心理学科、コミュニケーション学科	(R 8 年度 改組) ビジネスコミュニケーション学部、 心理学部、栄養・子ども学部
	人間生活学部	健康栄養学科、子ども教育学科	
敦賀市立看護大学	看護学部	看護学科	
福井医療大学	保健医療学部	リハビリテーション学科、看護学科	
仁愛女子短期大学	—	生活科学学科、幼児教育学科	
福井工業高等専門学校	—	機械工学科、電気電子工学科、電子情報工学科、 物質工学科、環境都市工学科	

福井県内大学のキャンパス分布



2 未来協働プラットフォームふくい について

未来協働プラットフォームふくいの概要

背景・課題

- 令和元年度に「ふくいアカデミックアライアンス（FAA）」を設立。**高等教育機関のみの連合体**であったことから、産業界等が求める人材育成や研究分野など**地域社会からのニーズ把握が必要**（H27～31年度のCOC+終了後、産業界等との連携体制がない）

産業界や大学の思い

- 県が産業界や大学に対して個別にヒアリングを実施。**双方ともつながりを求める**意見あり
（例）産業界：即戦力となる人材育成や企業課題解決に結びつく研究活動などを大学に求める 等
大学：地域がどのようなことを望むか、キャッチボールできる組織があるとよい 等



県の対応

このため、大学・産業界・自治体等が恒常的に対話をしながら、連携して地域の発展に貢献するための新体制（未来協働プラットフォームふくい）を福井県主導で構築（R3.11.29設立）

（目的）

高等教育機関と産業界・医療界・金融界・自治体等との連携を深めながら

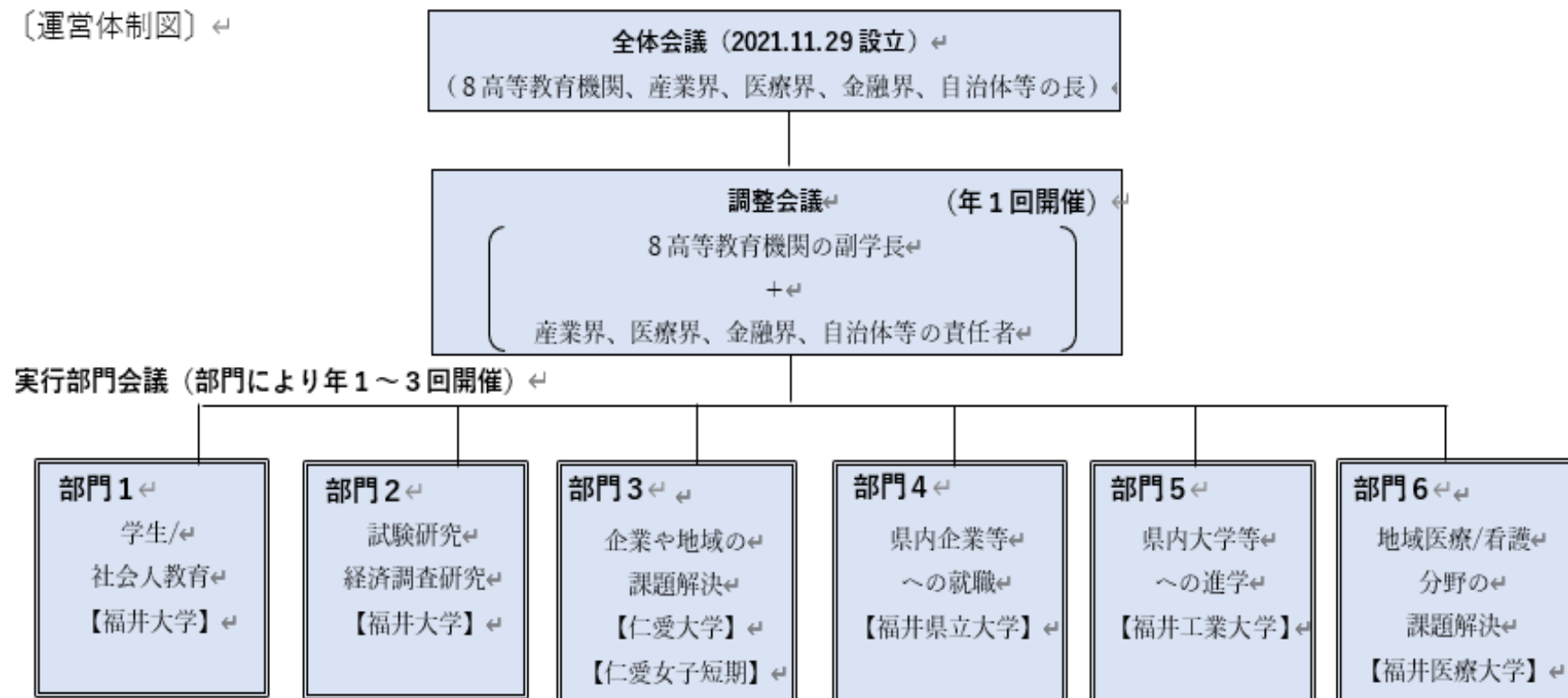
①**本県の将来を担う人材を育成・輩出**

②**本県の人口減少対策や地域・産業の活性化、医療、福祉、教育などの発展に寄与**

未来協働プラットフォームふくいの概要

- 階層別に3つの会議を設置（全体会議、調整会議（年1回）、6つの実行部門会議）
- プラットフォームの運営事務局は、福井県総務部大学私学課において担当
- 実行部門会議ごとに責任大学とコーディネーターを配置

〔運営体制図〕 ←



※ 【】 は責任大学 ← ※部門ごとにコーディネーターを配置

運営事務局（福井県） ←

未来協働プラットフォームふくいの概要（設立趣意書等）

「未来協働プラットフォームふくい」設立趣意書

本格的な人口減少・超高齢化社会に突入し、世界規模で社会経済の更なるグローバル化、技術革新、地球温暖化が進行するなど、わが国はいま、時代の大きな転換期を迎えている。

福井県においては、2040年に人口が64.7万人程度に減少すると推計される中、令和2年7月に策定した『福井県長期ビジョン』において、「しあわせ先進モデル 活力人口100万人ふくい」を基本目標に掲げ、新時代の活力と楽しさあふれるふくいを築くことを目指している。

また、新幹線や高速道路など高速交通ネットワークが整備され、国内外との大交流を推し進めるチャンスを目前に迎えており、観光、市場開拓・販路拡大、都市人材の誘致など、これら为本県の活性化に活かしていかなければならない。

このような状況の中で、「知と人材の集積拠点」である福井県内の高等教育機関は、地域社会への優秀な人材輩出、知の活用と社会実装を通じた課題解決など、地域に貢献する力をさらに高め、ふくい創生をリードすることが期待される。

県内の各地域および各分野の課題は非常に複雑なものが多く、高等教育機関と産業界・医療界・金融界・自治体等が新たな連携・協力体制をつくり、この難局を突破していく必要がある。

このため、福井県内8つの高等教育機関と関係機関が一体となった恒常的な議論の場を構築し、共通の目標を持ちながら地域社会の維持発展を図る取組みを推進するため、産学官医金による連携組織「未来協働プラットフォームふくい」を設立する。

令和3年11月29日

未来協働プラットフォームふくい参加団体等

福井県知事
福井県商工会議所連合会会頭
福井県商工会連合会会長
福井県中小企業団体中央会会長
福井経済同友会代表幹事
福井県経営者協会会長
福井県医師会会長
福井県看護協会会長
株式会社福井銀行頭取
福井市長
敦賀市長
小浜市長
大野市長
勝山市長
鯖江市長
あわら市長
越前市長
坂井市長
永平寺町長
池田町長
南越前町長
越前町長
美浜町長
高浜町長
おおい町長
若狭町長
福井大学学長
福井県立大学学長
敦賀市立看護大学学長
福井工業大学学長
仁愛大学学長
福井医療大学学長
仁愛女子短期大学学長
福井工業高等専門学校校長

2021年(令和3年)11月30日(火曜日) 永富 才木 菊行 尾崎

Uターン促進、人材確保…

大学・短大、高専や市町、産業界連携

「未来協働プラットフォームふくい」設立会議に出席した各団体の代表者。29日、福井市のアオッサ



県内全ての大学・短大、高専と、市町や産業界が連携して地域課題の解決を目指す「未来協働プラットフォームふくい」が設立し29日、初めての会議を福井市のアオッサで開いた。参加する34団体から約30人が出席。若者の県外流出など現状の課題を共有し、具体的な活動に向けたアイデアを話し合った。

東村新一福井市長ら各団体の代表者からは、中小企業の人材確保に悩む声が多く上がり、県内出身者への求人紹介の必要性を訴えた。県商工会議所連合会の八木誠一（会長）は、学生のUターンを促すため県外大学との連携強化を求めた。

県立大の進士五十八学長は「小中学校と連携し、郷土愛を育てる取り組みに力を入れることも大切」と指摘。福井高専の田村隆弘校長は「企業側と定期的に交流を開くなど学生を巻き込んでいきたい」と意欲を示した。

今後、取り組む課題ごとに実行部門会議を設け、学生への意識調査などを検討していく。事業に協力するパートナー企業も募る。問い合わせは県大学私学課（0776（20）0245）。

県によると、高等教育機関や市町、産業界が一体的に課題解決に当たる組織は全国でも珍しいという。（田中奈々子）

県内課題解決へ新組織

実行部門会議 1 (学生教育、社会人教育)

【責任大学】
【部門長】
【事務局】

福井大学
福井大学 副学長
大学私学課担当A

①「ふくい地域創生士」の育成、周知

- ・ 福井のことを学ぶ「地域志向科目」の受講や地域でのインターンシップへの参加などにより、福井についての知識を身につけ、地域に貢献できる人材である「ふくい地域創生士」を育成



② 社会人向けのリスクリソングプログラムの実施

- ・ 各大学において、リスクリソングを実施

【コーディネーター】 元福井大学 事務職員

- ・ 福井大学において学生教育等に関する実務を経験。他大学等との連携を進め、共同開講講義の実施に貢献
- ・ 産学官金の事業実施体制を構築した経験あり

実行部門会議 2 (試験研究、地域社会／地域経済に関する調査研究)

【責任大学】
【部門長】
【事務局】

福井大学
福井大学 副学長
大学私学課担当A

①大学と企業等との一体的な研究推進

- ・ 県内企業や自治体が共通して課題と感じている分野について、大学が研究を行い、調査結果を公表
R5・6年度は「カーボンニュートラル」(優良事例の紹介等)
R7・8年度は「女性活躍」



【コーディネーター】 コンサルタント

- ・ 地域課題の現状や経済・政策に関する分析、提言の策定(女性活躍・地域創生・働き方改革等)や、課題解決のためのワークショップのデザイン等に従事した経験あり

②大学と企業等の研究内容発信

- ・ 大学と企業の共同研究を促進するため、共同研究の事例や大学との連携の仕方について紹介する冊子を作成

実行部門会議 3（企業や地域の課題解決）

【責任大学】
【部門長】
【事務局】

仁愛大学、仁愛女子短期大学
仁愛大学 副学長
大学私学課担当B

①企業や地域との課題解決のためのマッチング

- ・大学生個人、大学の授業の一環、大学教授の研究など、様々な手法により、企業・地域の課題をマッチング



②未来協働プラットフォームふくい ウェブサイト運営

【コーディネーター】 まちづくり関係者

- ・まちづくりに関し、大学生プレイヤーの育成に尽力
- ・福井駅前のまちづくりプレイヤーとしてこれまで300以上のソフト事業を構築・実践。自治体・産業界、大学等との結びつきも強固

実行部門会議 4（県内企業等への就職）

【責任大学】
【部門長】
【事務局】

福井県立大学
福井県立大学 副学長
大学私学課担当C

①県内中小事業者向けの採用力向上セミナー

- ・R6年度は「新卒採用のミスマッチ解消」、「自社の魅力の伝え方」、「自社の新卒採用力チェック」などをテーマにセミナーを開催

②大学キャリアセンターと中小事業者との意見交換会の実施

- ・自社の魅力を直接キャリアセンターに伝えるとともに、学生の就職活動の動きなどを把握できる意見交換会を開催



【コーディネーター】 中小企業診断士

- ・中小企業診断士、社会保険労務士として、県内中小事業者の経営、労務、採用と、多方面に関する情報や人脈あり

実行部門会議 5 (県内大学等への進学)

【責任大学】
【部門長】
【事務局】

福井工業大学
福井工業大学 副学長
大学私学課担当D

① 福井県高校生進路選択調査 (R4～6年度高校生対象)

- ・県内高校生を対象とし、大学志望先、分野、進学実態、理由等を調査

🔗 R6年度実施結果

高校生進路選択調査 (R6年度高校生対象) では、最終的な進路として県内大学を選んだ割合が増加

② 進路探究ワークショップ (Feel Fukui's Fun)

- ・県内高校生を対象に、県内大学の学びと、それが県内企業でどのように生かされているかが体験できる、県内企業と連携したワークショップを実施し、県内大学の進学を促進する。

🔗 R7年度実施結果

日 時：9～10月

参加者：県内高校生54名

内 容：県内大学や企業の専門性に触れる講義、工業見学、フィールドワーク等

結 果：参加者から「県内大学や企業への関心が高まった」等との声が多数



テーマ「建築と教育」

「建築と教育の学びを活かして、子どもが輝く「あそびの場」を創り出せ！」

日 時：R7年9月27日 (土)

参加者：14名

大 学：福井大学・仁愛大学

企 業：株式会社ジャクエツ

内 容：講義・実習 (運動能力、環境) 企業見学、「あそびの環境デザイン」ワークショップ



テーマ「工学」

「工学が医療をサポートする！
大学の研究室から、がん治療の最先端へ！」

日 時：R7年9月28日 (日)

参加者：16名

大 学：福井工業大学

企 業：福井県立病院陽子線がん治療センター

内 容：講義・実習 (放射線) 施設見学、若手職員とのトークセッション



テーマ「農業と経済」

「福井の米どころから探る！食と農で未来を創る挑戦」

日 時：R7年10月13日 (月・祝)

参加者：24名

大 学：福井県立大学

企 業：福井精米株式会社

内 容：講義・実習 (経済、遺伝子等) 企業見学、若手職員とのトークセッション



① 1日看護大学生体験

- ・ 県内高校生を対象に、県内看護系学部をもつ大学において、看護大学生体験を実施

🔗 R7 年度実施結果

日 時：6～9月

参加者：県内高校生 101名

内 容：現場見学、血圧測定体験、看護師との意見交換、大学の模擬授業 等

結 果：「県内看護系大学の雰囲気も知り、看護への興味が高まった」等の声が多数



② OB・OGネットワークを活用した人材バンク

- ・ 県内中小医療機関に即戦力となる人材を確保するため、県内看護系学部を持つ大学の同窓会誌等を利用して求人情報を周知

③ 医療分野のニーズ・シーズマッチング会

- ・ 医療界のニーズと大学や産業界が持つ技術をマッチングし新たなサービスや製品開発を実施

【コーディネーター】 コンサルタント

- ・ 起業支援を行うNPO法人理事長や産業支援センターの創業支援アドバイザー等に就いており、大学、医療界、産業界とのマッチングに期待



「大学連携」の今後の取組み・将来に向けて（検討を開始）

「未来協働プラットフォームふくい」の組織強化について検討開始

- 引き続き、県が主体的に実施。大学側の意見も踏まえ、大学連携を進めるための組織を検討していく見通し

未来協働PFについて特質すべき分野に重点化

- 「県内定着」「課題解決」など重要な分野に、部門会議などを再編

大学連携などの取組みについて積極的に広報を行い、発信を強化

- 県内マスコミ等との連携強化
- ネーミングやロゴなどを検討

大学連携により、可能な範囲で共通して実施できることを検討

- 共通の取組み実施により、業務負担やコストの軽減が図れないかなど、今後、議論を開始

3 その他の福井県が実施する 大学への支援事業について

大学連携センター（Fスクエア）について

福井県内のすべての大学、短期大学、高等専門学校が集い、学べる拠点として、福井駅東口のアオッサに整備したサテライトキャンパス（平成28年4月オープン）

【Fスクエアで行われる主な活動】

① 教養科目の共同開講（単位互換）

- ・ 県内の大学・短期大学の学生を対象として、福井の豊かな自然、恐竜に代表される福井ブランド、県内企業の経営者や社員による講義等、ふるさと福井の魅力を学ぶ教養科目を開講

② 県内企業への就職支援

- ・ 学生の県内就職を総合的に応援するキャリア・ナビセンターを併設（専門の職員が常駐）
- ・ 希望者に就職活動のアドバイスや、集団面接等の実践講座、学生と企業経営者等との交流会を実施

③ 県内高校から県内大学への進学促進

- ・ 高校生への開放（自習スペースとして）
- ・ 県内大学紹介コーナーを設置

④ 社会人向けリカレント、リスキリング講座の開催

- ・ 企業及び自治体向けリスキリング講座を開催

⑤ Fスクアールの活動拠点

- ・ 福井県出身の大学生が、高校生の進路相談に応じるなど県内進学促進をサポート



その他の大学への支援や連携等について

- 1 各大学の魅力や特色を高める取組みやPBL・共同研究への支援
- 2 工学部系大学に対する県内就職増につなげるための人件費や広報費などを支援
- 3 県寄附講座を実施し、感染症医療や公衆衛生に携わる医師の育成などを支援
- 4 県内観光業界で活躍する人材育成のため、私立大学の観光学特設コース設置支援
- 5 県内大学等への進学者に対する 2人扶養世帯の授業料の減免（所得制限あり）
- 6 県内高校から 県内大学等への進学者に対する 家賃支援または交通定期支援
- 7 指定保育士養成施設への進学者に対する 授業料減免や家賃支援または交通定期支援
- 8 県内大学生に対する 海外への長期留学のための奨学金支援

今後について

- 少子化が進み、18歳人口が減少していく中、本県の人材確保の面において国公立・私立関係なく、県内すべての高等教育機関は「貴重な存在」
- 県内の高等教育機関も、本県の様々な政策にご理解。ご協力をいただいている
- 県としても、「知と人材の集積拠点」である県内高等教育機関に支援等しながら、地域への優秀な人材の輩出、知の活用による地域の課題解決などの面において、お互いの連携を強め、引き続き取り組んでいきたい

ご清聴ありがとうございました